

3字議会第308号
令和3年6月10日

宇治市議会議会運営委員会
委員長 真田 敦史 様

宇治市議会議長 堀



議会改革に関する調査・検討について(諮問)

新型コロナウイルス感染症の問題をはじめ、人口減少・少子高齢社会の進展や自然災害への対応など市政を取り巻く課題は山積しており、本市が未来に向かって持続的に発展するため、二元代表制の一翼を担う宇治市議会が果たすべき役割はますます重要となっています。

宇治市議会は、新型コロナウイルス感染症の危機の中にあっても、市民の皆様の信託を受けた責務にこたえ、議会としての役割を果たすため、議員相互に知恵を出し合い感染の拡大防止と議会活動の両立に取り組んできました。

この危機で得たさまざまな知見を活かし、これまでからも進めてまいりました議会改革の取り組みをさらに発展させ、自らの改革をより一層推進し、これまで以上にその役割を果たすため、下記の事項について諮問しますので調査・検討を行っていただきますようお願いいたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症の危機の中、取り組んできたICTの活用をさらに発展させ、議会活動のさらなる活性化を目指したICTの活用のための基本的な考え方について
2. 新型コロナウイルス感染症の危機も含め、今後予測される大規模災害が発生しても議会が機能を維持しその役割を果たすための基本的な考え方について
3. 市民の信託にこたえ、宇治市議会がより一層その役割を果たすために必要な、一般質問や議案審議、委員会審査や執行部への資料要求などのあり方及び議場・委員会室など議会棟の設備改修の基本的な考え方について